

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 エレマテック株式会社
 コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 櫻井 恵
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 磯上 篤生
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

TEL 03-3454-3526
 平成23年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	58,259	7.4	2,197	1.3	2,080	10.0	1,224	△0.8
23年3月期第2四半期	54,246	42.8	2,168	129.5	1,890	135.6	1,233	174.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 713百万円 (8.9%) 23年3月期第2四半期 655百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	59.79	—
23年3月期第2四半期	60.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	59,449	28,012	46.8	1,358.61
23年3月期	56,091	27,826	49.2	1,349.03

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 27,815百万円 23年3月期 27,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	5.8	4,350	5.7	4,250	12.3	2,650	8.1	129.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	21,152,473 株	23年3月期	21,152,473 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	678,858 株	23年3月期	678,658 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	20,473,671 株	23年3月期2Q	20,482,343 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年5月10日に発表した通期の連結業績予想及び個別業績予想を修正しております。
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	1.8	2,950	19.5	1,650	15.9	80.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響により急激に落ち込んだ生産活動が、サプライチェーンの早期復旧に伴い持ち直しを見せました。しかし、米国での景気回復の鈍化や欧州の債務危機問題が広がりを見せる中、円高も進行したことにより、輸出企業の収益をさらに圧迫しはじめたことから、景気回復のペースは鈍化しました。

エレクトロニクス業界におきましては、期前半は、節電を意識した省エネ型家電製品への買い替えや、地上デジタルテレビ放送への移行に伴う薄型テレビの駆け込み需要があったものの、期後半は、その反動が出始めたことや「エコポイント」制度等の後押しもないことから、家電の販売は低調に推移しました。一方、携帯電話はスマートフォンの販売が好調で、また、パソコンの販売も高機能モデルへの買い替え等により堅調でした。なお、半導体や電子部品等の生産は期を通して低調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、スマートフォンなど、携帯電話関連及びアミューズメント関連の部材に注力した販売活動に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比7.4%増の582億59百万円となりました。

利益面につきましては、売上総利益の増加や販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は、前年同期比1.3%増の21億97百万円となりました。

経常利益は、前年同期に比べ為替差損が減少したことから、前年同期比10.0%増の20億80百万円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、特別損失を計上したことから、前年同期比1.1%増の18億89百万円に、四半期純利益は、前年同期比0.8%減の12億24百万円となりました。

当社グループの報告セグメントを基とした、当第2四半期連結累計期間における地域別販売状況（セグメント間取引の相殺消去前）の概要は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高は、「電気材料」の販売が増加したことから、前年同期比3.7%増の478億4百万円となりました。営業利益は、前年同期比6.7%増の12億94百万円となりました。

(中国)

売上高は、「電気材料」の販売が増加したことから、前年同期比37.1%増の207億89百万円となりました。営業利益は、前年同期比3.0%増の6億67百万円となりました。

(その他アジア)

売上高は、「電気材料」の販売が増加したことから、前年同期比0.9%増の62億35百万円となりました。営業利益は、前年同期比63.8%減の41百万円となりました。

(欧米)

売上高は、「電気材料」の販売が増加したことから、前年同期比6.3%増の10億76百万円となりました。営業利益は、前年同期比80.4%減の12百万円となりました。

また、当社グループの当第2四半期連結累計期間における商品区分別販売状況の概要は、以下のとおりであります。

(電気材料)

携帯電話及びアミューズメント用等のディスプレイ部品・材料の販売が増加した結果、売上高は前年同期比16.7%増の323億31百万円となりました。

(電子部品)

パソコン及び車載用等の電気部品の販売が減少した結果、売上高は前年同期比2.2%減の131億82百万円となりました。

(機構部品)

液晶テレビ用等の機構部品の販売が減少した結果、売上高は前年同期比9.7%減の80億25百万円となりました。

(その他)

携帯電話用の関連部材等の販売が増加した結果、売上高は前年同期比12.9%増の47億20百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比6.0%増の594億49百万円となりました。

流動資産は、「受取手形及び売掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比8.4%増の537億99百万円となりました。

固定資産は、「投資有価証券」が減少したこと等により、前連結会計年度末比12.6%減の56億50百万円となりました。

流動負債は、「支払手形及び買掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比11.6%増の311億30百万円となりました。

固定負債は、「負ののれん」が減少したこと等により、前連結会計年度末比19.6%減の3億6百万円となりました。

純資産は、「為替換算調整勘定」が減少したものの、「利益剰余金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比0.7%増の280億12百万円となり、自己資本比率は、46.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末と比べ、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が2億80百万円減少し、86億96百万円となりました。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、94百万円となりました。主な内訳としては、税金等調整前四半期純利益が18億89百万円、仕入債務の増加による資金獲得が33億42百万円、売上債権の増加による資金流出が50億25百万円、たな卸資産の増加による資金流出が1億36百万円、法人税等の支払による資金流出が6億78百万円であります。

投資活動によって得られたキャッシュ・フローは、4億55百万円となりました。主な内訳としては、投資有価証券の売却及び償還による資金獲得が6億28百万円、有形固定資産の取得による資金流出が1億52百万円であります。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、4億48百万円となりました。主な内訳としては、配当金の支払による資金流出が5億9百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内の景気は、引き続き生産の回復基調が見込まれ、緩やかに持ち直しを続けるものと思われま。しかし、世界経済の回復力が弱まっており、また現状の水準の円高が続けば、さらに輸出が低迷する可能性があり、常に下振れるリスクを内在しています。

国内のエレクトロニクス業界は、スマートフォンや省エネ型家電等の販売は期待が見込めるものの、その他についてはデフレ圧力が続く中、数量及び価格面で厳しい状況が続くものと考えられます。

海外においては、米国の景気回復が減速しており、欧州諸国も緊縮財政の影響等で域内需要の低迷が見られます。このため多くの国で個人消費が伸び悩み、エレクトロニクス製品の販売は、弱含みで推移することが考えられます。一方新興国において、中国等ではインフレ抑制策の影響が見られるものの、引き続き経済成長が見込まれることから、エレクトロニクス製品等の需要を下支えするものと思われま。

このような状況の中、タイにおける洪水被害が世界の生産活動に対して与える影響等の不透明要因はあるものの、当社グループは引き続き海外売上高の伸長に注力し、中国等の成長が見込めるアジア地域での販売を強化し、収益機会を広げてまいります。

以上を踏まえ、2012年3月期通期の連結業績予想に関しましては、売上高を1,170億円と予想しております。利益面につきましては、営業利益43億50百万円、経常利益42億50百万円、当期純利益26億50百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,977	8,711
受取手形及び売掛金	34,005	38,600
たな卸資産	5,177	5,229
未収消費税等	857	497
繰延税金資産	254	241
その他	427	602
貸倒引当金	△73	△83
流動資産合計	49,626	53,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,263	2,366
減価償却累計額	△1,524	△1,520
建物及び構築物（純額）	738	846
機械装置及び運搬具	671	676
減価償却累計額	△323	△356
機械装置及び運搬具（純額）	347	320
土地	1,663	1,663
その他	648	595
減価償却累計額	△458	△467
その他（純額）	190	127
有形固定資産合計	2,939	2,957
無形固定資産		
ソフトウェア	149	126
その他	71	67
無形固定資産合計	220	193
投資その他の資産		
投資有価証券	1,452	750
長期貸付金	118	104
繰延税金資産	148	164
保険積立金	433	473
投資不動産	421	416
その他	803	610
貸倒引当金	△73	△20
投資その他の資産合計	3,304	2,499
固定資産合計	6,465	5,650
資産合計	56,091	59,449

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,472	27,461
短期借入金	1,812	1,890
未払法人税等	674	635
賞与引当金	199	365
役員賞与引当金	—	30
事業損失引当金	—	107
その他	724	640
流動負債合計	27,883	31,130
固定負債		
繰延税金負債	2	2
退職給付引当金	52	54
負ののれん	208	136
その他	117	113
固定負債合計	381	306
負債合計	28,264	31,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	3,335	3,335
利益剰余金	24,358	25,070
自己株式	△693	△693
株主資本合計	29,142	29,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10	△7
為替換算調整勘定	△1,511	△2,031
その他の包括利益累計額合計	△1,522	△2,038
少数株主持分	206	197
純資産合計	27,826	28,012
負債純資産合計	56,091	59,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	54,246	58,259
売上原価	48,280	52,185
売上総利益	5,966	6,073
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,227	1,317
役員報酬	126	117
運賃及び荷造費	522	463
法定福利費	174	197
旅費及び交通費	218	241
減価償却費	101	87
賞与引当金繰入額	360	339
役員賞与引当金繰入額	50	30
退職給付費用	114	113
貸倒引当金繰入額	4	△26
その他	896	992
販売費及び一般管理費合計	3,797	3,875
営業利益	2,168	2,197
営業外収益		
受取利息	4	51
受取配当金	5	6
負ののれん償却額	72	72
持分法による投資利益	4	—
貸貸収入	57	52
その他	31	27
営業外収益合計	175	209
営業外費用		
支払利息	2	30
持分法による投資損失	—	19
貸貸費用	12	10
為替差損	422	262
その他	16	4
営業外費用合計	454	326
経常利益	1,890	2,080
特別損失		
投資有価証券評価損	—	33
事業損失引当金繰入額	—	107
出資金売却損	—	46
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22	—
子会社清算損	—	3
特別損失合計	22	191
税金等調整前四半期純利益	1,868	1,889
法人税等	615	662
少数株主損益調整前四半期純利益	1,252	1,226
少数株主利益	18	2
四半期純利益	1,233	1,224

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,252	1,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	3
為替換算調整勘定	△510	△519
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	2
その他の包括利益合計	△597	△513
四半期包括利益	655	713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	643	707
少数株主に係る四半期包括利益	11	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,868	1,889
減価償却費	144	121
子会社清算損益 (△は益)	—	3
負ののれん償却額	△72	△72
出資金売却損	—	46
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	33
持分法による投資損益 (△は益)	△4	19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△43
受取利息及び受取配当金	△10	△57
事業損失引当金の増減額 (△は減少)	—	107
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,768	△5,025
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,075	△136
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,075	3,342
未収消費税等の増減額 (△は増加)	213	359
その他	△8	144
小計	358	731
利息及び配当金の受取額	11	73
利息の支払額	△2	△31
法人税等の支払額	△758	△678
営業活動によるキャッシュ・フロー	△391	94
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36	△152
出資金の払込による支出	△66	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	628
その他	△75	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178	455
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	239	76
配当金の支払額	△410	△509
その他	△112	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283	△448
現金及び現金同等物に係る換算差額	△355	△382
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,207	△280
現金及び現金同等物の期首残高	9,393	8,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,185	8,696

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

	日本 (百万円)	中国 (百万円)	その他 アジア (百万円)	欧米 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (注1) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	35,138	13,241	4,955	912	54,246	—	54,246
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	10,975	1,925	1,226	100	14,228	(14,228)	—
計	46,114	15,166	6,182	1,012	68,475	(14,228)	54,246
セグメント利益	1,213	648	113	61	2,036	131	2,168

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国又は地域は、次のとおりであります。

(1) 中国……………中国(香港を含む)

(2) その他アジア…台湾、韓国、東南アジア

(3) 欧米……………USA、チェコ、ポーランド

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

	日本 (百万円)	中国 (百万円)	その他 アジア (百万円)	欧米 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (注1) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	34,873	17,119	5,387	878	58,259	—	58,259
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	12,931	3,670	847	198	17,647	(17,647)	—
計	47,804	20,789	6,235	1,076	75,906	(17,647)	58,259
セグメント利益	1,294	667	41	12	2,015	182	2,197

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国又は地域は、次のとおりであります。

(1) 中国……………中国(香港を含む)

(2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア

(3) 欧米……………USA、チェコ、ポーランド

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高（百万円）	14,600	5,007	920	20,528
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	54,246
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	26.9	9.2	1.7	37.8

（注）国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- ① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度による。
- ② 各区分に属する主な国又は地域……中国（香港を含む）、その他アジア：台湾、韓国、東南アジア

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高（百万円）	19,551	5,127	925	25,604
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	58,259
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	33.6	8.8	1.6	44.0

（注）国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- ① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度による。
- ② 各区分に属する主な国又は地域……中国（香港を含む）、その他アジア：台湾、韓国、東南アジア